

事業実施報告書

法人名 特定非営利活動法人荒川の自然を守る会

事業名	荒川の自然・歴史・文化を活用した上尾市平方地域を中心とした地域づくり
枠の種類	ネーミング事業
分野	金紋世界鷹 みどりと川の再生環境保全事業
①事業の目的・この事業で取り組んだ課題	<p>荒川の自然の豊かさと荒川とともに生きてきた上尾市平方地域の歴史、文化を生かし地域を形成していることを深く総合的にとらえて地域を再生することを目的にしました。</p> <p>さらに荒川流域の自然は、都市開発の進んでいる関東地方の平野部にあっては、まとまった生物多様性の残された唯一ともいえる地域になっています。将来的に重要になる日本の生物多様性をもった地域としての利点と、河川の歴史的・文化的側面を残した地域を見直し、それらを生かしたまちづくりを行うことを目的にしました。</p>
②課題を解決するため、取り組んだ個々の事業	<p>①平方地域の歴史・文化の掘り起こし（聞き取り調査） 聖学院大学の渡邊正人教授の協力を得て地域の歴史・文化の聞き取り調査を実施する。</p> <p>②平方地域の自然・歴史・文化をめぐるイベントを実施する。 地元の歴史文化に詳しい人に講師をお願いする。 1回目は10月に予定する。リーフレット制作のため、イラストレーターも参加し、地元の話や様子を直接聞き取ってもらう。これまで地域の聞き取り資料は少なく、貴重な資料となる。 2回目はアマナの開花直前の2月に実施。アマナ群落の見事さを多くの方に見て実感してもらう。</p> <p>③アマナ（ユリ科アマナ属、埼玉県準絶滅危惧種）群落保護のための調査と天然記念物指定へ向けた行政への働きかけ。 西野堤防のアマナ開花期と6月の結実期に分布調査を行う。</p> <p>④上尾市貝塚地区の貝殻堤屋敷森法面の自然再生 堤防工事と県により行われた遺跡発掘場所で外来種が繁茂したため、許可を得て外来種を抜き取り、地域の在来野草の種を蒔いたり苗の移植をしたりして自然の再生を行う。</p> <p>⑤リーフレット作成 ①から④をまとめ、地域案内のリーフレットを作成して配布し、多くの人に平方地域に来てもらうようにする。</p>

③個々の事業の内容・実施結果

①歴史・文化聞き取り調査

- ・ 8月25日(日)：町づくりの会による聞き取り。午後2時～4時20分 参加：聖学院大学(渡辺先生、学生2人)、菅間
聞き取り対象：永島徳蔵氏(地域の歴史に詳しい地元の方)
- ・ 10月26日(土)：聞き取り。午後1時半～4時
市川さん(元蚕種販売の豪農家)、7人参加。快く蚕種のことなど話していただいた。貴重な養蚕の建物を見学した。
- ・ 2020年1月25日(土)：平方まち巡りと西野の観察、リーフレット資料収集と聞き取り。八枝神社発9時から12時、神山さん(市指定文化財レンガ蔵の主)12人参加。

②平方町巡りイベント

- ・ 10月19日(土)「貝殻堤屋敷森の自然再生」活動を台風による洪水観察会に変更した。
午前9時～9時40分、8人参加。
台風19号により活動場所の平方地区で床上・床下浸水発生、ヘドロは20cm位堆積。
- ・ 11月10日(日)平方町巡り。第1回 21人
八枝神社の社務所から出発 宮司さんに話を聞く。
- ・ 1月25日(土)まちづくり調査会 9時から12時八枝神社 12人
- ・ 2月22日(土)平方町巡り 第2回 18人
八枝神社社務所から出発

③西野土手アマナ群落自然調査

- ・ 11月10日(日)まち巡り後調査 8人
- ・ 1月17日(金)調査 5人
- ・ 1月19日(日)発芽調査 2人
- ・ 2月16日(日)調査 3人

④貝殻堤屋敷森の自然再生

- ・ 6月23日(日)貝殻堤屋敷森調査 1人
- ・ 8月24日(土)貝殻堤屋敷森作業 6人
- ・ 8月28日(水)貝殻堤屋敷森管理作業 2人
- ・ 10月16日(水)貝殻堤川側 1人
- ・ 10月19日(土)西貝塚草刈りイベントは洪水観察会とした。8人
※10月以降は現地が泥沼のようになり流木も散乱して自然再生することは不可能になった。流木は国土交通省により1月に取り除かれた。春になってどのようになるか楽しみであるが、今の段階では自然再生の作業は断念している。

⑤広報活動及びリーフレット作成会議

- ・ 6月1日(土)JRの駅からハイクに合わせ、広報活動。石倉家で展示紹介。5時間6人参加
- ・ 8月26日(月)「平方河岸の遺産を生かす会」会議を開催

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9月26日(木)「平方河岸の遺産を生かす会」会議開催 ・ 11月10日(日)「平方河岸の遺産を生かす会」会議開催。 ・ 12月21日(土) 埼玉新聞 関連記事掲載 p 8。 ・ 1月25日(土) テキストづくり打ち合わせ。1時半から4時。 7人参加 																									
<p>◎事業のスケジュール</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">時期</th> <th style="width: 60%;">調査・イベント等</th> <th style="width: 30%;">リーフレット作成</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6月</td> <td>①歴史・文化聞き取り調査 ③西野アマナ群落自然調査 ④貝殻屋敷森の自然再生</td> <td>⑤リーフレット 資料収集</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>④貝殻屋敷森の自然再生</td> <td rowspan="10" style="text-align: center; vertical-align: middle;">↓</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>①歴史・文化聞き取り調査 ④貝殻屋敷森の自然再生</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>①歴史・文化聞き取り調査 ②平方町巡り準備 ④貝殻屋敷森の自然再生</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>①歴史・文化聞き取り調査 ②平方町巡り第1回雨天延期 ④貝殻屋敷森の自然再生 ④自然再生：台風のため延期</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>②平方町巡り第1回実施 ④貝殻屋敷森の自然再生</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>④貝殻屋敷森の自然再生</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>②平方町巡り準備 ④貝殻屋敷森の自然再生</td> <td>⑤リーフレット 作成会議</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>③西野アマナ群落自然調査 ②平方町巡り第2回実施</td> <td>⑤リーフレット 作成・配布</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 広報実績について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上尾市広報（11月号）掲載 ・ 上尾市議会報に掲載 ・ 埼玉新聞掲載 10月31日(木)「ECO 轟肩欄」掲載 12月21日(土) 関連記事掲載 p 8 2月22日(土) 取材依頼 	時期	調査・イベント等	リーフレット作成	6月	①歴史・文化聞き取り調査 ③西野アマナ群落自然調査 ④貝殻屋敷森の自然再生	⑤リーフレット 資料収集	7月	④貝殻屋敷森の自然再生	↓	8月	①歴史・文化聞き取り調査 ④貝殻屋敷森の自然再生	9月	①歴史・文化聞き取り調査 ②平方町巡り準備 ④貝殻屋敷森の自然再生	10月	①歴史・文化聞き取り調査 ②平方町巡り第1回雨天延期 ④貝殻屋敷森の自然再生 ④自然再生：台風のため延期	11月	②平方町巡り第1回実施 ④貝殻屋敷森の自然再生	12月	④貝殻屋敷森の自然再生	1月	②平方町巡り準備 ④貝殻屋敷森の自然再生	⑤リーフレット 作成会議	2月	③西野アマナ群落自然調査 ②平方町巡り第2回実施	⑤リーフレット 作成・配布
時期	調査・イベント等	リーフレット作成																								
6月	①歴史・文化聞き取り調査 ③西野アマナ群落自然調査 ④貝殻屋敷森の自然再生	⑤リーフレット 資料収集																								
7月	④貝殻屋敷森の自然再生	↓																								
8月	①歴史・文化聞き取り調査 ④貝殻屋敷森の自然再生																									
9月	①歴史・文化聞き取り調査 ②平方町巡り準備 ④貝殻屋敷森の自然再生																									
10月	①歴史・文化聞き取り調査 ②平方町巡り第1回雨天延期 ④貝殻屋敷森の自然再生 ④自然再生：台風のため延期																									
11月	②平方町巡り第1回実施 ④貝殻屋敷森の自然再生																									
12月	④貝殻屋敷森の自然再生																									
1月	②平方町巡り準備 ④貝殻屋敷森の自然再生		⑤リーフレット 作成会議																							
2月	③西野アマナ群落自然調査 ②平方町巡り第2回実施		⑤リーフレット 作成・配布																							
<p>④個々の事業の実施により達成した成果の具体的な内容</p>	<p>① 歴史・文化聞き取り調査 地元の方に現場を見学しながら聞き取りをしたり、ご自宅を訪問し聞き取りやいろいろな道具を見せていただいたりした。またイベントや臨時の調査会で会員が積極的に地域の問題についての疑問や掘り起こしをしていった。地元のものだけでは気づかなかったことがらが提起された。</p> <p>② 平方町巡りイベント 予定していたまち巡り2回のうち1回は台風で延期し、観察会に変更。</p>																									

	<p>③ 西野土手アマナ群落自然調査 自然調査は4回、ほかに会員からは通りかかったときの観察報告が随時あった。今年は暖冬で生育が早い傾向。 アマナ生育地の除草が今年は早くでき、しかも暖冬で発芽が早かったので、成長阻害されずに済んだ。</p> <p>④ 貝殻堤屋敷森の自然再生 (助成対象外の活動) 4・5・月4回 6月から10月5回 移植・種まきの調査・外来植物の抜き取りや植生調査 10月の台風19号によりイベントの開催が不可能になった。地元の90歳代の女性に聞き取りしたところ、昭和16年の洪水以来の出水状態だったということだった。自然再生地も流れてきた草や流木、泥水に覆われた。水が引いた後も長くぬかるんで立入りができなかった。 1月まで洪水で漂着したものが残され、荒川上流河川事務所により片付けられた。そのため自然調査ができないままで経過している。しかしながらこの経過は、河川敷では自然な状態であり、今後の経過が興味深い。</p> <p>⑤ 広報活動及びリーフレット作成会議 JRの駅からハイクや上尾市の環境パネル展に参加広報。また埼玉新聞関連記事掲載 p 8 リーフレット作成のための会議開催</p>
<p>⑤費用の工夫</p>	<p>台風による荒川の洪水のため、予定していた10月の自然再生活動が不可能になった。そのため自然再生の作業ができなくなったが、その分の事業費や日程を無駄にすることなく歴史・文化調査に充てることにより、多くの会員に新鮮な感覚で地元の様子を調査してもらうことができた。そうした調査内容をリーフレットの作成に生かすことができた。</p>
<p>⑥地域社会への還元について</p>	<p>今までの公的なまちづくり活動とは違ったアプローチが少しずつ地域の人々の関心を引き起こしつつあるようです。 橋神社の前に立派な説明看板が上尾市によって設置されました。 リーフレットの内容は調査内容の一部であり、今後さらに地域の方に地元の歴史・文化・自然の良さを再認識してもらうために活用できそうです。 貝殻堤屋敷森の自然再生は洪水により10月で止まりましたが、洪水も自然の一部ですので今後が楽しみです。例えば春から移植したり種まきしたりしてきたものがどれだけ根付いているか、今後観察していきたいと考えています。また洪水で上流から流れてきた泥に混ざってどんな植物が漂着しているか観察していくことも重要になっています。もともと貝殻堤屋敷森の自然再生地は、発掘調査に</p>

	<p>よりかく乱された場所で外来種が多かったところです。外来種も近くにはなかったものが、工事用の土に混じって遠くから運ばれてきたと思えるものが多かったのです。洪水によって漂着したものにどんなものがあるか、今後の河川敷の自然再生をするうえにも興味深い現象です。</p>
⑦今回の事業が他の団体、行政等が実施する同種の事業と比べて優れていること	<p>まちづくりに歴史・文化・自然を融合させて取り組んでいることは少ないようです。しかしながら、地域の自然があるからこそ生まれた歴史・文化であることを今年の調査で再認識しました。これを地域の人々の誇りとする事ができればまちづくりにも効果的だと思います。</p>
⑧事業の実施体制	<p>○事業の実施について</p> <p>①総括責任者：菅間宏子 ②連絡責任者：佐藤健一 ③現場責任者：奥隅俊男 ④経理担当者：藤波欽司 ⑤広報担当者：海老原直也</p>
⑨来年度以降どう事業を継続し発展させていくか	<p>出来上がったリーフレットを生かし市民に地元の良さを広めたい。また西野土手のアマナについても自然の豊かさの象徴として、そして上尾市の誇りとして認知してもらえるようにしていきたい。今後、近隣の川越市や川島町との境界という立地の良さを生かしてネットワークを作りたいと思います。</p>
⑩補足事項 (付帯意見への取組み結果)	<p><付帯意見>「成果物（リーフレットなど）の作成にあたっては、地域の人々の声を反映させながら作成するとともに、その有効活用について、更なる工夫を検討してください。」</p> <p><対応状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月10日に実施した平方まち巡りにおいて、参加者から感想や意見をいただいた。地域にお住まいの方々から聞き取りを行った成果も反映できた。内容は聖学院大学の渡邊先生に監修していただき、学術的かつ正確な記載内容を心掛けた。 ・またイラストは、イラストレーターに同行していただき、リーフレットにふさわしいものを製作していただいた。 ・こうした感想や意見を反映したため、内容が当初、想定していたものより充実したものとなった。 ・できあがったリーフレットは、今後、平方河岸の遺産を生かす会など、地元の活動で有効に活用していける。